

No. 1399

防 災

— 埼 玉 ・ 浦 和 —

多数の犠牲者を出した栃木県鬼怒川川治温泉のホテル火災。毎年3月7日から一週間は建築物防災指導週間です。これは建築物の防災対策を推進するのが目的。今回は特にホタル火災に備えて、大型ホテルの災害に対する安全性を重点に行われました。最近ビジネスホテルの急増している埼玉県浦和市でもこの方針をもとに防災査察が行われました。ひとたび火災が発生すると大惨事にもなりかねないだけに査察はきびしく行われます。排煙設備、非常用の照明、進入口など次々に点検していきます。ホテルの関係者に火災に対する対処の仕方を指導するのも重要な仕事のひとつ。冬から春にかけては火災の多く発生する季節円滑な避難が行われるよう防災対策には充分心がけたいものです。

都市交通の夜明け

— 兵 庫 ・ 神 戸 —

「新しい海の文化都市の創造」をテーマに3月20日から開かれるポートピア博覧会。その会場となる兵庫県神戸市の沖合に浮ぶポートアイランドに一足先に新しい交通システム「ポートライナー」がお目見えしました。このポートライナーの車体はバスよりやや大きく、車輪はゴムタイヤを使用しています。動力は電気で排気ガス、騒音の心配は全くなく、新しい都市交通システムとして開発されたものです。ポートアイランド一週の高架軌道約6.4キロを25分で走るポートライナー。ドアの開閉、発車と停車、速度調整などすべてコンピューターで操作されています。もちろん自動運転になっているため係員が乗車しているだけです。我が国初の試みのこのポートライナー、未来の文化都市にふさわしい交通システムと云えそうです。

不屈の炎、消えず

— 太平洋横断気球飛行 —

夢とロマンをかけた気球による初の太平洋横断飛行の試みが3月1日、三重県長島温泉で行われた。これは米国のロッキー青木さん等4人が計画したもので、ダブルイーグルVと名付けられた気球で約9,600キロ離れた米西海岸のサンフランシスコを目標とするもの。物資の積み込みなど出発準備の遅れから、バルーンにヘリウム注入が開始されたのは夜に入ってからだ。半透明の巨大なバルーンが夜空で左右に大きくゆれる。このまま順調に行けば8,000メートル上空のジェット気流に乗り、60時間でサンフランシスコに着くはずだ。しかし折からの悪天候のもと風速15メートルの突風にあおられ、バルーンがねじれ、完全にヘリウムを注入することが出来ず、2時間半の難作業の末ついにこの日の離陸を延期した。天候の回復した翌2日に再びスペアのバルーンで挑戦。ベン・アビルッツ機長の「ゴー」のサインで再びガスの注入開始、今度こそとクルーは燃える悪戦苦闘の末ようやくあと30分でテイクオフ。だがまたしてもアクシデントの発生、3日未明の午前3時40分突然15トンのアンカーが横すべりし、ショックでワイヤが切れ、ゴンドラが移動した。総額2億円をかけた冒険ロマンは不測のトラブルで遂に消えた。しかしそこには不屈の冒険野郎たちの男のドラマがあった。